

# 新入生の皆さんへ

—きき思ひ繋ぐ絆の心—

学校教育学部長 水岡 繁 登

敬 啓 函 札 長 崎 学 育 誌

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんのこれまでの大変な努力が実り、夢と希望に満ちて、広島大学学校教育学部に入學した皆さんに心からお祝いの言葉を送ります。学校教育学部に入學した皆さんは、どんな目的で入學してきたのでしょうか。ほとんどの人は、将来教育界で社会に貢献したいと思って入學されたものと思います。そのような明確な目的でなく入學した人もあるかと思いますが、4年後には教壇に立ち、子供たちの担任もしなければならぬでしょう。また、21世紀初めの中堅教員であり、教員の指導者となる立場の皆さんであることを十分に自覚していただきたいと思います。そのような立場にある皆さんですから、専門職としてのりっぱな教員として社会に出ているよう勉学に志していただきたいものです。21世紀に向けて、初等中等教育の目指すところは、豊かな個性をもち、創造力に富み、心身ともに健康な国民を育成することです。そのためには、広島大学の大学歌にもあるように、真・善・美の心を育てることにあると思います。すなわち、真理を求める心を育成すること、生命を尊ぶ心、思いやりの心、感謝の心、人のために尽くす心、基本的な生活習慣を身につけさせること、自分で自分を律することのできる人間、自分で社会の規範を守ることのできる人間を育成すること、自然を愛し、美しいものや崇高なものに感動する心を育成することにあると思います。また、自ら学び、自ら伸びる意欲や急速に変化する社会に主体的に対応できる能力の育成および、以上のようなことを達成するための健

全な精神と身体を育てることも重視しなければならぬ。このように文章で書けば簡単ですが、実際に皆さんが教員となって、皆さんが担任する子供たちをこのように育てることは極めて大変なことであると思います。皆さんの一人一人に、将来の日本を支える子供たちを育てていく大きな責任があるわけですね。学校教育学部に入學した皆さんは、その責任が重大であり、またそのような使命があることを十分認識していただきたいと思います。このような責任が十分果たせる教員となるために、大学生活の中で、皆さんの力量をしっかりと磨いていただきたいものです。子供たちを育てていくには、それぞれの子供に適切な教育をほどこしていかなくてはならないものです。適切な教育をほどこすためには、その子供の心理的、身体的発達や成長についての深い理解が必要です。また、教科等に関する専門的知識はもちろん重要なことです。高等学校までに修めた基礎的知識に専門的知識を加え深めていかなくてはなりません。さらにこれらの知識を整理し、その知識を組み合わせるいろいろな事象を子供たちに説明できるように高めていただきたいものです。専門に秀でていることは、子供たちの信頼も大きく、よい教育ができると思います。また、専門的知識だけでなく、広く豊かな教養も専門職としての教員には極めて大切なことです。これらのことは、皆さんが学生時代にしっかりと身につけていただきたいことです。子供たちから、私たちはいい先生に担任していただいた、と言ってもらえるような教員になるよう、学生時代を有意義に過ごしていただきたいものと思います。